

令和四年度 国語表現シラバス

科目	単位数	指導学年・指導教科書
国語表現	2単位(70時間)	
科目の目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。	3学年 ・ 大修館書店『国語表現』

学期	月	教科書単元名	教科書教材名	領域(時間)			主な学習の目標 (評価規準)	評価の観点					評価方法等		
				A (話すこと・ 聞くこと)	B (書くこと)	C (読むこと)		関心・ 意欲・ 態度	話す・ 聞く 能力	書く 能力	読む 能力	知識・ 理解			
前期	4月	1 書いて伝える	1 整った文を書く	4			・主述の関係、副詞の呼応、文末表現の統一、話し言葉と書き言葉の違いなど、整った文を書くために大切なことを理解する。	○		◎			◎	・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	
			2 わかりやすい文を書く				・長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 ・読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。	○		◎			◎	・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	
			3 文のつながり方				・接続表現の種類と働きを理解する。 ・文脈による文のつながりを理解する。	○		◎			◎	・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	
			4 絵や写真を見て書く				・図や写真を見て文章を書き、相手に伝わる文章を書くために必要なことを理解する。 ・相手に伝えることを意識してわかりやすい文章を書く。	○		◎			○	・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	
	5月	5 声のコミュニケーション	1 言葉のストレッチ体操	1			・聞くこと、話すこと、伝え合うことを見つめ直し、コミュニケーションについて新たな発見をする。 ・コミュニケーションの楽しさを感じる。	○	◎					・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価	
			3 ショートスピーチしよう	3			・話すことの順序を考えて、わかりやすいショートスピーチをする。 ・話し手が話しやすい聞き方をする。	○	◎	○			○	・観察 ・ワークシート ・発表 ・相互評価、自己評価	
	6月	6 会話・議論・発表	2 議論して結論を出す	3			・司会者などの役割を理解し、建設的な議論になるように協力し合いながら話し合いをする。 ・話し合いに積極的に参加し、結論を出すために貢献する。	○	◎					○	・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価
			3 プレゼンテーションの工夫	4			・視覚的資料を用いながら、効果的なプレゼンテーションをする。	○	◎	○			◎	・観察 ・ワークシート ・発表 ・相互評価、自己評価	
		(第2部)	10 演説合戦にチャレンジ	5			・賛成か反対かを明確にし、聞き手を説得できるように、筋道を立てて話す。 ・意見の根拠に注意し、説得力があるかどうかを考えながら聞く。	○	◎	○	○		○	・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価	
			12 開廷！模擬裁判	2			・模擬裁判において、根拠をふまえて自分の意見を述べたり、議論を重ねて結論を導いたりする。	○	◎			◎	◎	・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価	
	6月	6 会話・議論・発表	1 相手や場面に応じた会話	1			・場面にふさわしい言葉遣いを考える。 ・適切な言葉遣いでロールプレイをする。	○	◎				○	・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価	
	7月	4 メディアを駆使する	1 通信文を書き分ける	1			・さまざまな通信文の形式を理解する。 ・相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。	○		◎			◎	・ワークシート ・作品 ・小テスト ・定期テスト	
2 電話を使いこなす			1			・初対面や目上の相手に対する電話での話し方を理解する。 ・相手に応じた適切な言葉遣いや対応のしかたを理解する。	○	◎				◎	・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価 ・小テスト		
3 ネット社会とコミュニケーション		1			・ネットを用いたコミュニケーションの特長と使用する上での留意点を理解する。 ・電子メールを活用する上でのエチケットを理解する。	○		◎	○		◎	・作品 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト			
5 働く人にインタビュー		2			・質問内容を吟味してインタビューをし、相手の話の大切な点を落とさずに聞き取る。 ・聞き取った内容を適切に編集し、文章にまとめる。	○	◎	◎	○		○	・観察 ・作品 ・相互評価、自己評価			

